

記 入 日 2018 年 1 月 8 日

## 1. 概 要

実践団体名	水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊		
連絡先	070-5054-6744		
プランタイトル	あの日の声を「カタチ」にする ～ラジオドラマで残したい～		
プランの対象者※1	10 地域住民 11 社会人・一般	対象とする 災害種別※2	3 水害 8 その他（土砂災害）

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

## 【プランの目的・ここがポイント！】

- ・平成21年豪雨の経験者の声を録音して、ラジオドラマを作成し、風化の防止と継承を行う。
- ・平成21年の災害を知らない中学生が、災害について調べラジオドラマを作成することで災害を知り、災害について考え、伝えていく、きっかけを作る。

## 【プランの概要】

- ・平成21年の豪雨の風化が激しく、防災意識の低い防府市民に、住んでいる地域で起こった災害を知ってもらうきっかけ作りのラジオドラマというアイテムの作成。
- ・災害を知り、備えることを伝えていく。

## 【期待される効果・ここがおすすめ！】

- ・今回活動してくれた中学生が平成21年豪雨について学び話せるようになったことで、学校でも話をしてくれたり、イベントでも積極的に話してくれるので、今まで以上に伝える人がふえたこと。
- ・災害未経験でも、聞き学び心で感じることで、災害を語り継ぐことができることが分かったので、また新たなメンバーでも取り組み活動を広げていけること。

## 2. プランの年間活動記録 (2017 年)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4月	ラジオドラマ作成	出演者調整	ラジオドラマ準備 (シナリオ構成)
5月	ラジオドラマ作成	出演者調整	ラジオドラマ準備 (シナリオ作成)
6月	ラジオドラマ作成	収録場所用意	ラジオドラマ収録
7月	ラジオドラマ作成		ラジオドラマ編集
8月	被災地体験	受入れ先調整	朝倉市災害ボランティア
9月	発表	展示物準備、アンケート準備	市民活動フェスタ出展
10月	ラジオドラマ作成	アンケート準備	ラジオドラマ視聴
11月	体験学習		防府市防災訓練参加
12月	ラジオドラマ作成	出演者調整、収録場所用意	ラジオドラマ収録
1月	ラジオドラマ作成	出演者調整、収録場所用意	ラジオドラマ収録 ラジオドラマ編集
2月			
3月			

## 3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号： 1】※3

タイトル	市民活動フェスタ
実施月日（曜日）	2017年9月30日（土）
実施場所	防府市市民活動支援センター
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当 氏 名：今井 邦子 所属・役職等：事務局
所要時間または 「コマ数×単位時間」	10：00～15：00
プログラムの カテゴリ、形式※4	イベント・行事
活動目的※5	8：防災意識を高める
達成目標	一人でも多くの方に防災展示を見ていただく、話をする
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示 朝倉市でのボランティア活動</li> <li>・非常持ち出し袋アンケート</li> <li>・外国人用やさしい日本語の防災ハンドブック配布</li> </ul>
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材 … 朝倉市で防災活動をした中学生</li> <li>・道具 … パネル、アンケート用紙、見本用防災袋 アンケート用シール、大判用紙</li> </ul>
参加人数	約 50 人
経費の総額・内訳概要	文房具代 2,241 円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方にアンケートにご協力いただき、防災について話をできた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一日だけでは、伝えられる人数に限界がある。</li> </ul>
成果物	アンケート結果

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：  2 】※3

タイトル	朝倉市ボランティア活動
実施月日（曜日）	2017年8月19日（土）～8月20日（日）
実施場所	福岡県朝倉市
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当 氏 名：今井 邦子 所属・役職等：事務局
所要時間または「コマ数×単位時間」	8月19日 午前11時から午後3時 8月20日 午前10時から午後2時
プログラムのカテゴリ、形式※4	17 その他 被災地でのボランティアに対するかき氷配布
活動目的※5	5 災害を疑似体験
達成目標	被災地を知る 被災者と話す
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	朝倉市でボランティアに対するかき氷の配布 朝倉市の被災者の方の話を聞く 土砂災害の被災地現場を見る、においを感じる
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	人材：アカザ隊中学生3名 大人2名 現地コーディネート 1名
参加人数	アカザ隊 6名 被災者 3名 ボランティア 多数
経費の総額・内訳概要	交通費 23,400円
成果と課題	【成果】 土砂災害の脅威を自分の目で見ることで災害の恐ろしさを体験できた。被災者と話すことでリアルな話が聞けた。 【課題】 聞いたこと見たことをどのように伝えていくのがいいのか。伝え方。
成果物	なし

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：  3 】※3

タイトル	ラジオドラマ作成
実施月日（曜日）	2017年4月～2018年2月
実施場所	市民活動支援センター、国交省、防府市小野地区
担当者または講師	担当者・講師等の区分：講師 氏名：谷本 啓之 所属・役職等：県内テレビ局勤務
所要時間または「コマ数×単位時間」	1回2時間程度
プログラムのカテゴリ、形式※4	13 体験学習
活動目的※5	2 防災に役立つ資料・材料づくり
達成目標	語り継ぐためのラジオドラマの作成
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオドラマシナリオ作成</li> <li>・平成21年豪雨の体験者から話を聞く</li> <li>・ラジオドラマ収録</li> </ul>
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	人材：平成21年災害体験者 4名 道具：録音機械、パソコン
参加人数	出演者を含め 15名
経費の総額・内訳概要	2018年1月8日現在 進行形
成果と課題	<b>【成果】</b> ・取材を行うことで、災害を知ることができた。アカザ隊に伝えてほしい、災害に備えるというメッセージも受け取ることができた。 <b>【課題】</b> ・音材を使ってもらうところを探す
成果物	ラジオドラマ CD

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

## 4. 苦勞した点・工夫した点

<p><b>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオドラマの脚本を作ったことはありましたが、実際に声を収録するのは大変でした。</li> <li>・取材はOKだが、自分の声はよくないのでNGという方もいらっしやって、本人の声をと思っていたので、調整が難しかったです。</li> </ul>
<p><b>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地の小野地区に住んでいらっしやる方に、話していただけそうな方を紹介していただいたのでよかったです。</li> <li>・はじめは、熊本の被災地で話を聞くことにしていましたが、7月に福岡・大分で豪雨災害が発生し、その土砂災害の様子が防府の災害と似ていて、急遽朝倉市へ行くことにしました。朝倉市でボランティアをされている方にコーディネートをお願いすることで、被災者の方と話ができたり、ボランティアの方と話ができたりと、スムーズに活動が行えてよかったです。</li> </ul>
<p><b>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</b></p>	<p>取材対象者の日程調整も難しく、また記憶があいまいになっているとのことで、取材できないこともありました。しかし、取材したことで、家族が8年前を思い出し今一度災害に備えることを話すきっかけになったと喜ばれた方もいらっしやいました。</p> <p>市民の防災意識向上を目指して、防府らしい防災袋（土砂災害用）の作成も計画に入れていましたが、防災袋というよりは、いつも使っているもの、バックに入っているものが、実はいざという時に役に立つ、防災袋の第一歩をすでに無意識で行っていることが付いてもらうために、市民活動フェスタでみなさんのバックの中身のアンケートを行い、1つの物がいろいろな顔をもっていて、それを知っておくことで、いざという時に使えることを伝えました。</p>

## 5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	勝間小学校放課後子ども教室 「かつまっ子倶楽部」	ラジオドラマ視聴 防災かるた大会 雨量計作成 防災グッズづくり
保護者・ PTAの組織		
地域組織	市民活動支援センター  門前サークル  山口県国際交流協会	市民活動フェスタ出展  防災袋アンケート ラジオドラマ視聴  外国人住民のための防 災教室
国・地方公共団体・ 公共施設	国土交通省山口河川国道事務所	ラジオドラマ取材 災害説明 災害資料提供
企業・ 産業関連の組合等		
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	小野水辺の空間利用を考える会	ラジオドラマ取材
職業、職能団体・ 学術組織、学会等		

## 6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p><b>成果として 得たこと</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した中学生が、しっかりと災害について学習してくれて、展示には友達を呼んで話をしてくれたこと。</li> <li>・展示にて、備えなくてはいけないと思っているが、何を備えたらいいのかわからなかったが 例をみて、自分でも揃えられそうな物ばかりだったのでできそうという声をいただいた。</li> <li>・取材したご家族が、8年前を気にはしているが、忘れていたこともたくさんあった。取材を受けることで、今一度思い出すことができ、よかった。家族とも再認識できてよかったとの感想をいただいた。</li> </ul>
<p><b>全体の反省・ 感想・課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年一年、「防災教育」というテーマで活動できたことは、新しい視点からの活動ができてよかったです。</li> <li>・ラジオドラマの役者の練習をもう少しすればよかった。</li> <li>・展示でたくさんの方とお話できて、防府にも防災を考えている人がいることが分かってよかった。</li> <li>・ラジオドラマをつかっただけの活動が少なかったため、これからどんどん使っていきたい。</li> </ul>
<p><b>今後の 継続予定</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災バックの作成ができなかったため、継続して防災バックの作成を続ける。</li> <li>・ラジオドラマの音源をたくさんの方に聞いていただける機会を作っていく。</li> <li>・これからも防災活動を続けて行く。やめない。</li> </ul>



## 7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。

### 取材の様子

6月9日 国土交通省山口河川国道事務所



6月18日 地域の方へ取材・外国人住民のための防災



### 朝倉でのかき氷ボランティア



(自由記述: 1/3)

市民活動フェスタ



アンケート



0次の備え



活動展示

【アンケート】

非常持ち出し袋にプリントするならどっち？

- ・防府市観光マスコット ぶっちー 34 票
- ・防府商工マスコット たぬ防 16 票



自宅に非常持ち出し袋はありますか？

- ・ある 10 票
- ・ない 40 票



今!! (いつも) カバンの中に入っているものは何？

- 水 (1) 非常食・携帯食 (1) ライト (2) ホイッスル (1) ラジオ (1)
- 携帯電話の充電器 (6) 筆記用具 (7) 救急セット (1) 常備薬 (4) マスク (1)
- 携帯トイレ (1) ウエットティッシュ (5) 大判のストール・ふろしき・バンダナ (1)
- エコバック (5) ナプキン・おりものシート (6)

【アンケート結果から】

非常持ち出し袋が家がない人も、意外にバックの中に備えがあることがわかった。  
このバックの中身を発展させて、0次の備え、非常持ち出し袋の準備につなげたい。

(自由記述: 2/3)

A large empty rectangular box with a blue border, intended for free text entry.

(自由記述: 3/3)